

## ステークホルダーの声を反映した経営と信頼性の向上

すべてのステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを大切にし、健全で効率的な経営を行い、ステークホルダーから信頼される企業グループを目指しています。

### ステークホルダーとのコミュニケーション

阪神高速グループでは、取り巻く社会の要請や期待、変化を感性鋭く捉え、グループ一体となって柔軟に伝えていくため、さまざまなステークホルダーとのコミュニケーションを大切にしています。

ステークホルダー	主なコミュニケーション	内容
高速道路ご利用の お客さま 	お客さま満足度調査	 お客さま満足度調査の実施 P.52
	お客さまセンター	 阪神高速お客さまセンター P.52
	お客さま満足アッププラン	 お客さま満足アッププラン P.53
	有人パーキングエリア	コンシェルジュがさまざまな問い合わせに対応(道路交通情報などを提供)
	料金所、 遠隔サポートセンター	料金所スタッフがタブレット「i-toll」を活用し、外国人旅行者を含むお客さまからの問い合わせに対応(渋滞情報や料金案内などを提供)
地域・社会 	記者会見	社長による定例記者会見を年2回(春・秋)実施し、阪神高速グループの主な取り組みを発信
	経済団体活動	各種委員会活動などに参画し、経済団体の一員として関西活性化の取り組みなどに協力
	ホームページ、SNS、 LINE公式アカウント	 積極的な情報発信 P.53 阪神高速のLINE公式アカウント P.58
	事業PR活動	 環境イベントなどを通じた積極的な情報発信 P.26 お客さま・地域の皆さまへの事業PR P.53
取引先 	業界団体との意見交換	受注者の働き方改革などを推進するため、阪神高速の事業に関係する業界団体との意見交換を定期的実施
	安全大会、優良者表彰	 工事における労働安全の推進 P.54
	入札監視委員会	入札・契約の過程および契約内容の一層の公平性、透明性を図るため、社長の諮問機関として設置
株主・投資家 	株主総会	毎年6月に定時株主総会を開催し、会社の経営に関して重要な事項(剰余金処分・役員選任など)を意思決定
	IR活動	 IR活動 P.54
グループ社員 	社内ラジオ	 社内ラジオ「こころラジオ」 P.54
	社員主体の改善活動	 チャレンジアップ運動、CS表彰 P.58
	社内報	「社員」に焦点をあてながら「会社の動き」や「社員の活躍」などを毎月取り上げることで、社内コミュニケーションの活性化を期待